

令和2年度「女性関連施設相談員研修」(オンデマンド研修)開催要項

1. 趣 旨

女性関連施設の相談員を対象に、女性に対する暴力などの喫緊の課題解決を目指し、相談者への理解を深め、相談業務に必要な知識・技能を習得するとともに、関係機関との連携促進を図るためのオンデマンド研修を行います。複雑・多様化する悩みに男女共同参画の視点から適切に対応できる相談員の育成と業務の質の向上を図り、相談から見えるニーズを事業や行政の施策へつなげるための専門的・実践的研修です。

2. 主 催

独立行政法人国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6724 FAX 0493-62-6720

URL <https://www.nwec.jp> Eメール progdiv@nwec.jp

3. 実施方法及び期間

(1) 配信期間 令和2年6月17日(水)9:00～6月30日(火)17:00

(2) 方 法 参加者と公開期間を限定したYouTube(NWEC Channel)の動画配信によるオンデマンド研修

※インターネットに接続できるパソコン環境(タブレット、モバイル端末も可)が必要です。YouTube視聴のために特別なアカウント登録などの必要はありません(ただし、通信料は参加者の負担となります)。公開されている動画は、期間中、参加者の都合に合わせていつでも視聴することができます。

(3) 研修の流れ

申込	・5月13日(水)午前9時～26日(火)午後5時 申込締切
参加者決定	・6月2日(火) 参加の可否をEメール又は文書で通知
研修	・6月15日(月) YouTube動画限定公開URL通知 ・6月17日(水)～30日(火)各講義URLより動画を視聴
アンケート	・6月30日(火)アンケートフォームより回答

4. 対象及び定員

(1) 公私立の女性関連施設、相談機関等の相談員 80名

(2) 地方公共団体における関連施策担当者 10名
(相談事業を統括する立場にある方)

※全ての動画（計9時間程度）を視聴し、研修終了後のアンケートと6か月後に実施するフォローアップ調査の両方を提出可能な方

※応募多数の場合は抽選とし、会館が主催する女性関連施設相談員研修に初めて参加される方、これまで参加が少ない地域の方の申込を優先します。なお、参加者決定に関する個別のお問い合わせには一切お答えできませんので、あらかじめ御了承ください。

5. 内 容

(1) 開会 (15分)

主催者あいさつ 内海 房子 国立女性教育会館理事長
オリエンテーション

(2) ワーク1「ジェンダー視点を見つめなおす」(50分)

アイスブレイクとして課題の共有を行った後、相談業務に携わる自身が持つ視点を振り返ります。ワークを通し自分を見つめなおすことで、相談員に必要なジェンダーに敏感な視点を養います。

講師：新堀由美子 男女共同参画センター横浜相談センター長

(3) 講義1「男女共同参画の視点に立った女性相談とは」(60分)

男女共同参画の本質とその視点に立った相談業務のあり方について学びます。女性を取り巻く社会状況の変化と歴史、女性が直面する困難が社会構造と深く結びついていることを踏まえ、女性相談のプロセスと役割について理解を深めます。

講師：執行 照子 NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会代表理事
NPO法人フェミニストカウンセリング神戸理事

(4) 情報提供「女性に対する暴力の根絶に向けた取組」(30分)

女性相談に関する国の最新施策についての説明を受け、今後の方向性について理解を深めます。

講師：吉田 真晃 内閣府男女共同参画局暴力対策推進室長

(5) 講義2「女性相談支援に関する法知識 ～DV、性暴力、離婚等～」(60分)

DV、性暴力、離婚等の相談における面会交流や保護命令等について、相談員として知っておくべき法知識を学びます。

講師：黒田 典子 海老原法律事務所 弁護士

(6) 講義3「トラウマ・インフォームド・ケアの概念に基づく性犯罪・性暴力被害者の支援者育成」(60分)

性暴力の被害体験を聴くとはどんなことなのか。性暴力被害者の状況をどうとらえ、どのように支援していくかについて学びます。また、話を聞くことの意義とリスクについて理解し、相談員のバーンアウトや二次受傷を引き起こさないための相談の組織的対応や相談員自身のメンタルヘルスに関する知識を学びます。

講師：加茂登志子 若松町こころとひふのクリニック PCIT 研修センター長
東京都女性相談センター 嘱託精神科医

(7) ワーク2「ケース別支援のあり方」(45分×2)

具体的にどのような相談対応をしたらよいか、事例をもとに考えます。男女共同参画の視点に立った相談対応の基礎力を養います。

講師：竹之下雅代 ウィメンズカウンセリング京都
NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会理事
杉本志津佳 フェミニストカウンセリング堺
日本フェミニストカウンセラー協会代表

(8) ワーク3「相談事業の展開と連携」(40分×2)

相談支援における流れや連携する関係機関の機能や役割を共有し相談支援における展開と連携のあり方を探ります。個人ワークを活用します。

講師：石本 宗子 社会福祉士

(9) 講義4「相談業務を事業・施策へつなげる」(50分)

相談から見えるニーズを事業や行政の施策へつなげる取組について学びます。相談から見えてきたことを事業や施策につなげることの重要性について理解します。

講師：景山ゆみ子 公認心理師・臨床心理士
東海地区「男女共同参画をすすめる相談事業」研究会顧問

(10) まとめ(20分)

学んだ内容について振り返り、男女共同参画の視点に立った女性関連施設相談員としての意義と役割について再確認します。

講師：石本 宗子 社会福祉士

(11) アンケート記入

6. 申込方法等について

(1) 方法

申込フォーム：令和2年度「女性関連施設相談員研修」よりお申込みください。
(<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pakg-lbtckj-37950ecd3b3a978175bc1bdac6e68e93>)



※申込フォームより送信ができない場合については、別紙参加者申込書に必要事項を記入の上、事業課宛てに郵送ください。送受信の行き違いや受信もれを防ぐため、**FAX・Eメールは不可**とさせていただきます。

※開催要項、参加申込書等の電子データは、国立女性教育会館ホームページよりダウンロードいただけます。

(https://www.nwec.jp/event/training/g_soudan2020.html)

(2) 申込期間

令和2年5月13日(水) 午前9時～26日(火) 午後5時必着

※先着順ではありません。（「4. 対象及び定員」を御参照ください。）
※今回のオンデマンド研修については、今後の申込の際には過去の受講経験に数えません。

（3）参加通知

「参加申込書」記載の連絡先に、Eメール又は文書にて発送します。
6月2日（火）までに連絡がない場合は、お手数ですが事業課までお問い合わせください（電話：0493-62-6724 平日9時～17時）。

（4）キャンセル

参加決定後にキャンセルされる場合は、必ず事業課まで電話にて御連絡ください（電話：0493-62-6724 平日9時～17時）。

【キャンセル可能期間】6月2日（火）～6月12日（金）

※キャンセル待ちで参加可能となった方には、6月2日（火）～6月15日（月）の間に御連絡します。

7. 参加費 無料（通信料は御自身の負担となります。）

8. その他

（1）フォローアップ調査の実施

研修終了6か月後を目途にフォローアップ調査を実施します。実際の職務に、研修成果がどのように役立てられているかについて伺い、今後当会館が実施する事業を充実させていくための参考とするものです。

（2）「男女共同参画の視点に立った相談に関する調査研究」への御協力をお願い

当会館では今年度、現在の相談現場のニーズや課題を把握し、より良い研修や情報提供を行っていくための調査を実施しております。フォローアップ調査とは別に御回答いただいた事前アンケートなどをもとに追加アンケートやヒアリングを後日実施する場合があります。御多忙中とは存じますが、御協力をお願いいたします。